



福島医発第1593号（地）

平成23年10月 5日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻一良

（ 公 印 省 略 ）

麻疹風しんの第3期・第4期の予防接種の促進について

麻疹風しんの予防接種につきましては、平成24年までに麻疹を排除するための経過措置として、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の者に対して、平成20年度から5年間を期間として第3期・第4期の接種が実施されておりますが、先般公表された平成22年度の接種率からこのまま推移すると、麻疹排除の目標である接種率95%の達成は困難な状況となっております。（※福岡県の麻疹接種率は、第1期95.0%【全国33位】、第2期92.6%【25位】、第3期80.5%【45位】、第4期77.9%【41位】）

このことから、予防接種に関する普及啓発活動、未接種未罹患の者への積極的勧奨などによる、さらなる接種の促進について、厚生労働省健康局結核感染症課長より各都道府県衛生主管部（局）長宛に通知された旨、日本医師会より別添のとおり連絡がありましたのでお知らせいたします。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、会員各位への周知方よろしくお願い申し上げます。

また、本年は風しんの発生報告が増加しており、第38週（平成23年9月19日～9月25日）時点では、全国で320件（約65%は成人男性）、福岡県はもっとも多く、65件の報告です。本会では、9月26日に開催した定例記者会見において、先天性風しん症候群に対する注意喚起と予防接種の勧奨を行いました。会員医療機関におかれましては、未接種未罹患の任意接種対象者に対しても予防接種を勧奨いただきたく存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

予防接種担当理事 松行眞門
会長 蒲池 壽

(地Ⅲ137)

平成23年9月27日

都道府県医師会

感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長

保 坂 シゲリ

麻しん風しんの第3期・第4期の予防接種の促進について

麻しん風しんの第3期・第4期の予防接種につきましては、平成24年までに麻しん排除に向けた経過措置として、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の者に対して、平成20年度から5年間を期間として実施されているところです。しかし、先般公表された平成22年度の接種率からこのまま推移すると、麻しん排除の目標である接種率95%の達成は困難な状況となっています。

このことから、予防接種に関する普及啓発活動、未接種未罹患の者への積極的勧奨などによる、さらなる接種の促進について、厚生労働省健康局結核感染症課長より各都道府県衛生主管部（局）長宛通知されました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会管下郡市区医師会、関係医療機関等に対し、周知方よろしくご高配のほどお願い申し上げます。

健感発0921第1号
平成23年9月21日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省健康局結核感染症課長

麻しん風しんの第3期・第4期の予防接種の促進について（依頼）

標記の予防接種については、平成24年までに麻しん排除に向けた経過措置として、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の者に対して、平成20年度から5年間を麻しんの排除のための対象期間として時限的に実施しているところであり、各都道府県衛生主管部局におかれては、貴管内市区町村に対し、積極的に接種の勧奨を行うよう指導していただいていることと存じます。

さて、本年8月5日付で公表した別添の「平成22年度定期の予防接種（麻しん風しん第1期～第4期）の実施状況の調査結果」によると、全国平均の接種率は、第3期が87.2%、第4期が78.8%であり、このまま推移すれば、麻しん排除の目標であるところの接種対象者の接種率95%の達成が危惧される状況であります。

ついては、このような状況を改善するための対策を早急に講じる必要があることから、「麻しん対策会議」等を開催し、学校機関に対して本年9月末時点での接種状況の確認、未接種未罹患の者に対して積極的な勧奨を行うよう協力の要請、また、市区町村に対して、再度の個別通知の徹底及び電話による積極的勧奨等の実施について、ご指導方よろしくお願い申し上げます。

なお、保護者に対しては、予防接種に関する十分な普及啓発を行うなど、子どもたちが予防接種を受けやすい環境を整備し、麻しん風しんの第3期・第4期の接種対象者のうち、未接種未罹患の者については、早期のうちに接種が実施されるよう、さらなる接種の促進につき、ご協力方お願い申し上げます。

（参考資料）

- 1 2010年度麻しん風しんワクチン接種率
- 2 学校における麻しん対策ガイドライン（抜粋：積極的勧奨のスケジュール）

別紙1

総合表： 都道府県別麻疹ワクチン接種率 2010年度最終評価 接種対象群別結果一覧

2010年4月1日～2011年3月31日

No.	都道府県	第1期	第2期	第3期	第4期
	合計	95.6	92.2	87.2	78.8
1	北海道	97.9	91.9	82.5	78.6
2	青森県	95.3	93.6	92.3	86.3
3	岩手県	93.9	94.1	89.0	88.6
4	宮城県	91.9	91.4	86.9	78.7
5	秋田県	97.5	96.0	94.4	90.0
6	山形県	96.5	94.1	93.8	91.8
7	福島県	91.7	90.3	83.9	78.6
8	茨城県	95.8	93.8	96.5	83.7
9	栃木県	96.7	92.9	94.7	84.1
10	群馬県	93.2	93.4	92.6	82.1
11	埼玉県	95.8	93.4	86.5	75.0
12	千葉県	96.1	92.0	91.2	74.8
13	東京都	94.5	90.2	83.9	67.0
14	神奈川県	94.8	88.4	80.5	62.6
15	新潟県	97.3	96.9	95.1	90.6
16	富山県	96.9	95.6	96.2	90.4
17	石川県	97.2	93.4	92.9	87.4
18	福井県	97.7	95.6	95.2	90.0
19	山梨県	96.7	92.2	85.9	80.0
20	長野県	95.2	94.3	93.3	85.6
21	岐阜県	97.0	92.0	91.5	85.5
22	静岡県	97.0	92.2	88.6	83.0
23	愛知県	97.8	93.8	87.8	84.5
24	三重県	95.0	93.6	87.7	85.9
25	滋賀県	98.4	91.5	84.6	78.3
26	京都府	95.9	95.3	94.1	79.1
27	大阪府	95.1	90.8	83.4	71.7
28	兵庫県	96.8	91.7	87.2	81.0
29	奈良県	91.3	91.1	84.3	80.4
30	和歌山県	95.2	94.0	92.3	85.9
31	鳥取県	96.4	92.4	91.0	87.7
32	島根県	95.1	95.6	92.9	90.3
33	岡山県	96.0	93.7	89.9	83.8
34	広島県	96.3	92.0	85.0	78.7
35	山口県	96.7	91.1	89.0	85.0
36	徳島県	99.6	93.4	89.7	84.2
37	香川県	96.3	95.0	89.5	84.5
38	愛媛県	96.5	95.1	88.8	83.6
39	高知県	94.1	90.5	85.1	79.9
40	福岡県	95.0	92.6	80.5	77.9
41	佐賀県	97.3	92.9	91.2	90.0
42	長崎県	93.8	92.4	88.8	85.6
43	熊本県	94.6	93.8	91.9	85.1
44	大分県	92.7	92.1	89.7	83.7
45	宮崎県	96.0	91.4	89.7	84.5
46	鹿児島県	93.8	90.4	79.9	79.4
47	沖縄県	92.2	90.4	81.3	75.6

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

別紙2

表1-1 2010年度 第1期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2011年3月31日現在、最終評価
 順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく
 接種対象者数①は、2010年10月1日現在の第1期対象者の数、②、③、④は2010年度における接種者の数
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

順位	都道府県	2010年度 第1期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤= (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥= (②+ ④) / ① × 100
	合計	1,091,342	1,043,311	213	158	95.6	95.6
1	徳島県	5,907	5,884	0	0	99.6	99.6
2	滋賀県	13,488	13,274	3	1	98.4	98.4
3	北海道	39,916	39,087	6	4	97.9	97.9
4	愛知県	71,052	69,481	17	9	97.8	97.8
5	福井県	7,155	6,992	0	0	97.7	97.7
6	秋田県	7,082	6,903	1	0	97.5	97.5
7	新潟県	18,446	17,936	7	3	97.3	97.3
	佐賀県	7,575	7,365	2	4	97.3	97.3
9	石川県	10,008	9,730	0	0	97.2	97.2
10	岐阜県	17,586	17,063	2	3	97.0	97.0
	静岡県	32,738	31,760	1	3	97.0	97.0
12	富山県	8,637	8,372	0	1	96.9	96.9
13	兵庫県	48,578	47,023	4	2	96.8	96.8
	山梨県	6,834	6,608	1	2	96.7	96.7
14	栃木県	17,370	16,794	1	1	96.7	96.7
	山口県	11,698	11,308	1	0	96.7	96.7
17	山形県	8,860	8,551	0	0	96.5	96.5
	愛媛県	11,528	11,118	1	2	96.5	96.5
19	鳥取県	4,905	4,729	0	0	96.4	96.4
20	広島県	25,879	24,930	0	0	96.3	96.3
	香川県	8,462	8,147	0	1	96.3	96.3
22	千葉県	53,988	51,903	6	5	96.1	96.1
23	岡山県	16,810	16,141	5	10	96.0	96.1
	宮崎県	10,045	9,646	0	0	96.0	96.0
25	京都府	21,383	20,499	9	9	95.9	95.9
26	茨城県	24,871	23,821	4	2	95.8	95.8
	埼玉県	61,975	59,354	9	13	95.8	95.8
28	青森県	9,625	9,173	0	0	95.3	95.3
29	長野県	17,767	16,912	3	1	95.2	95.2
	和歌山県	7,734	7,358	2	0	95.2	95.1
31	島根県	5,710	5,431	0	0	95.1	95.1
	大阪府	75,911	72,176	25	10	95.1	95.1
33	三重県	16,220	15,415	2	1	95.0	95.0
	福岡県	46,225	43,931	1	4	95.0	95.0
35	神奈川県	80,580	76,367	25	26	94.8	94.8
36	熊本県	16,288	15,414	0	0	94.6	94.6
37	東京都	108,199	102,201	52	26	94.5	94.5
38	高知県	5,612	5,281	0	0	94.1	94.1
39	岩手県	9,952	9,349	0	1	93.9	94.0
40	長崎県	12,244	11,488	0	1	93.8	93.8
	鹿児島県	15,123	14,179	0	0	93.8	93.8
42	群馬県	17,084	15,906	11	3	93.2	93.1
43	大分県	10,113	9,368	2	2	92.7	92.7
44	沖縄県	16,877	15,560	8	7	92.2	92.2
45	宮城県	19,256	17,704	1	1	91.9	91.9
46	福島県	16,439	15,080	0	0	91.7	91.7
47	奈良県	11,607	10,599	1	0	91.3	91.3

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

別紙3

表1-2 2010年度 第2期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2011年3月31日現在、最終評価
 順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく
 接種対象者数①は、2010年4月1日現在の第2期対象者の数、②、③、④は2010年度における接種者の数
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

順位	都道府県	2010年度 第2期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤= (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥= (②+ ④) / ① × 100
	合計	1,110,487	1,023,566	198	156	92.2	92.2
1	新潟県	19,358	18,762	2	0	96.9	96.9
2	秋田県	7,945	7,631	0	0	96.0	96.0
3	島根県	6,064	5,799	0	1	95.6	95.6
	富山県	9,388	8,975	0	0	95.6	95.6
	福井県	7,341	7,016	0	0	95.6	95.6
6	京都府	21,798	20,765	1	2	95.3	95.3
7	愛媛県	11,931	11,342	3	1	95.1	95.1
8	香川県	9,132	8,675	1	0	95.0	95.0
9	長野県	19,348	18,235	7	3	94.3	94.3
10	山形県	9,780	9,207	0	0	94.1	94.1
	岩手県	10,839	10,197	0	0	94.1	94.1
12	和歌山県	8,208	7,716	1	0	94.0	94.0
13	愛知県	70,453	66,094	10	6	93.8	93.8
	熊本県	16,257	15,251	1	0	93.8	93.8
	茨城県	26,397	24,744	4	5	93.8	93.8
16	岡山県	17,659	16,543	5	4	93.7	93.7
17	青森県	11,061	10,355	2	2	93.6	93.6
	三重県	16,830	15,753	1	1	93.6	93.6
19	徳島県	6,345	5,929	0	0	93.4	93.4
	石川県	10,394	9,710	0	0	93.4	93.4
	群馬県	18,257	17,042	9	2	93.4	93.4
	埼玉県	63,187	58,981	7	10	93.4	93.4
23	栃木県	17,926	16,658	1	2	92.9	92.9
	佐賀県	7,931	7,359	5	3	92.9	92.8
25	福岡県	44,399	41,114	1	2	92.6	92.6
26	鳥取県	5,180	4,786	0	0	92.4	92.4
	長崎県	12,394	11,446	1	0	92.4	92.4
28	山梨県	7,469	6,889	1	0	92.2	92.2
	静岡県	34,139	31,467	3	2	92.2	92.2
30	大分県	10,108	9,311	0	1	92.1	92.1
31	千葉県	55,152	50,743	5	8	92.0	92.0
	岐阜県	19,041	17,510	4	2	92.0	92.0
	広島県	25,579	23,518	3	3	92.0	92.0
34	北海道	42,714	39,237	6	9	91.9	91.9
35	兵庫県	50,410	46,196	5	8	91.7	91.7
36	滋賀県	14,194	12,978	4	6	91.5	91.5
37	宮崎県	10,183	9,311	0	0	91.4	91.4
	宮城県	19,694	18,002	0	0	91.4	91.4
39	山口県	11,998	10,934	1	1	91.1	91.1
	奈良県	12,090	11,009	1	2	91.1	91.1
41	大阪府	77,251	70,136	23	21	90.8	90.8
42	高知県	5,900	5,341	0	0	90.5	90.5
43	沖縄県	16,447	14,871	3	1	90.4	90.4
	鹿児島県	15,161	13,701	0	0	90.4	90.4
45	福島県	17,894	16,162	0	0	90.3	90.3
46	東京都	99,546	89,746	17	26	90.2	90.2
47	神奈川県	79,715	70,419	60	22	88.4	88.4

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

別紙4

表1-3 2010年度 第3期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2011年3月31日現在、最終評価
 順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく
 接種対象者数①は、2010年4月1日現在の第3期対象者の数、②、③、④は2010年度における接種者の数
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

順位	都道府県	2010年度 第3期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤= (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥= (②+ ④) / ① × 100
	合計	1,200,400	1,046,985	307	787	87.2	87.3
1	茨城県	29,021	27,997	1	12	96.5	96.5
2	富山県	10,243	9,857	0	3	96.2	96.3
3	福井県	8,084	7,697	1	1	95.2	95.2
4	新潟県	22,517	21,403	2	4	95.1	95.1
5	栃木県	19,124	18,107	1	0	94.7	94.7
6	秋田県	9,681	9,134	1	6	94.4	94.4
7	京都府	23,289	21,919	5	7	94.1	94.1
8	山形県	11,009	10,322	0	0	93.8	93.8
9	長野県	21,402	19,963	5	11	93.3	93.3
10	石川県	11,173	10,382	0	2	92.9	92.9
	島根県	6,633	6,160	0	1	92.9	92.9
12	群馬県	19,976	18,495	6	14	92.6	92.7
13	和歌山県	9,824	9,070	0	1	92.3	92.3
	青森県	13,491	12,449	0	5	92.3	92.3
15	熊本県	17,744	16,300	2	8	91.9	91.9
16	岐阜県	20,975	19,192	0	3	91.5	91.5
17	佐賀県	9,089	8,292	0	2	91.2	91.3
	千葉県	56,715	51,691	8	65	91.2	91.3
19	鳥取県	5,541	5,044	0	4	91.0	91.1
20	岡山県	19,230	17,269	18	16	89.9	89.9
	大分県	11,321	10,154	2	4	89.7	89.7
21	徳島県	7,161	6,420	0	1	89.7	89.7
	宮崎県	11,471	10,280	4	3	89.7	89.6
24	香川県	9,556	8,556	1	6	89.5	89.6
25	山口県	13,382	11,907	0	3	89.0	89.0
	岩手県	12,534	11,151	0	2	89.0	89.0
27	長崎県	14,462	12,841	2	1	88.8	88.8
	愛媛県	13,814	12,255	5	5	88.8	88.8
29	静岡県	36,070	31,955	4	12	88.6	88.6
30	愛知県	73,507	64,563	8	13	87.8	87.9
31	三重県	18,391	16,133	2	3	87.7	87.7
32	兵庫県	55,073	48,016	2	22	87.2	87.2
33	宮城県	21,626	18,788	0	7	86.9	86.9
34	埼玉県	68,168	58,968	16	100	86.5	86.7
35	山梨県	8,858	7,606	1	11	85.9	86.0
36	高知県	6,870	5,843	1	2	85.1	85.1
37	広島県	27,494	23,349	11	8	85.0	85.0
38	滋賀県	14,701	12,437	6	4	84.6	84.6
39	奈良県	13,905	11,721	1	6	84.3	84.3
40	東京都	100,305	84,143	28	112	83.9	84.0
	福島県	20,251	16,992	0	4	83.9	83.9
42	大阪府	84,651	70,530	106	84	83.4	83.4
43	北海道	47,855	39,476	13	13	82.5	82.5
44	沖縄県	16,835	13,695	0	14	81.3	81.4
45	神奈川県	82,293	66,187	39	164	80.5	80.6
	福岡県	48,176	38,765	5	16	80.5	80.5
47	鹿児島県	16,909	13,511	0	2	79.9	79.9

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

表1-4 2010年度 第4期 麻しん風しんワクチン接種率全国集計結果 2011年3月31日現在、最終評価
 順位は麻しんワクチン接種率⑤に基づく
 接種対象者数①は、2010年4月1日現在の第4期対象者の数、②、③、④は2010年度における接種者の数
 MRワクチン：麻しん風しん混合ワクチン

順位	都道府県	2010年度 第4期					
		麻しん風しん ワクチン接種 対象者数 (人)：①	MRワクチン 接種者数 (人)：②	麻しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：③	風しん単抗原 ワクチン接種者 数(人)：④	麻しんワクチン 接種率(%) ：⑤ = (②+ ③) / ① × 100	風しんワクチン 接種率(%) ：⑥ = (②+ ④) / ① × 100
	合計	1,215,341	956,126	1,144	2,359	78.8	78.9
1	山形県	12,148	11,142	4	1	91.8	91.7
2	新潟県	23,506	21,300	4	12	90.6	90.7
3	富山県	10,156	9,180	4	16	90.4	90.5
4	島根県	7,222	6,508	12	3	90.3	90.2
5	福井県	8,388	7,553	0	6	90.0	90.1
	秋田県	10,676	9,600	7	21	90.0	90.1
	佐賀県	9,569	8,606	3	7	90.0	90.0
8	岩手県	13,983	12,383	1	3	88.6	88.6
9	鳥取県	6,186	5,423	0	3	87.7	87.7
10	石川県	11,462	10,012	6	12	87.4	87.5
11	青森県	14,651	12,642	1	6	86.3	86.3
12	和歌山県	10,413	8,947	2	4	85.9	86.0
	三重県	18,626	16,000	4	10	85.9	86.0
14	長崎県	16,097	13,764	14	8	85.6	85.6
	長野県	21,530	18,404	16	85	85.6	85.9
16	岐阜県	21,452	18,325	7	14	85.5	85.5
17	熊本県	19,081	16,232	5	16	85.1	85.2
18	山口県	13,766	11,699	5	10	85.0	85.1
19	愛知県	70,165	59,250	30	97	84.5	84.6
	香川県	9,377	7,913	8	9	84.5	84.5
	宮崎県	12,163	10,261	11	6	84.5	84.4
22	徳島県	7,619	6,414	1	1	84.2	84.2
23	栃木県	19,671	16,532	4	9	84.1	84.1
24	岡山県	18,843	15,763	32	63	83.8	84.0
25	大分県	11,671	9,740	31	42	83.7	83.8
	茨城県	29,869	24,988	10	30	83.7	83.8
27	愛媛県	14,484	12,082	22	65	83.6	83.9
28	静岡県	35,903	29,776	13	28	83.0	83.0
29	群馬県	20,226	16,565	31	35	82.1	82.1
30	兵庫県	54,615	44,168	55	101	81.0	81.1
31	奈良県	14,590	11,718	7	21	80.4	80.5
32	山梨県	9,468	7,564	8	8	80.0	80.0
33	高知県	7,389	5,893	13	9	79.9	79.9
34	鹿児島県	18,810	14,931	2	11	79.4	79.4
35	京都府	23,245	18,345	43	44	79.1	79.1
36	広島県	27,524	21,625	36	33	78.7	78.7
	宮城県	22,766	17,905	3	14	78.7	78.7
38	福島県	22,192	17,429	6	8	78.6	78.6
	北海道	51,415	40,301	98	132	78.6	78.6
40	滋賀県	14,390	11,251	21	98	78.3	78.9
41	福岡県	48,706	37,919	37	59	77.9	78.0
42	沖縄県	17,479	13,204	3	21	75.6	75.7
43	埼玉県	68,510	51,337	59	239	75.0	75.3
44	千葉県	55,814	41,706	46	181	74.8	75.0
45	大阪府	81,684	58,371	228	191	71.7	71.7
46	東京都	97,528	65,294	67	274	67.0	67.2
47	神奈川県	80,313	50,161	124	293	62.6	62.8

※ 各接種率は、小数点第二位以下を四捨五入

定期予防接種の年度別対象者

	中学1年生に相当する年齢の者	高校3年生に相当する年齢の者
平成20年度	平成7年4月2日～平成8年4月1日生まれ	平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれ
平成21年度	平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれ	平成3年4月2日～平成4年4月1日生まれ
平成22年度	平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ	平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ
平成23年度	平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれ	平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれ
平成24年度	平成11年4月2日～平成12年4月1日生まれ	平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれ

従来から就学時健康診断において行われている麻しん罹患歴及び第1期と第2期の予防接種歴の確認及び接種していない場合の第2期定期接種の指導に加え、学校での麻しん発生及び流行を予防するため、平成20年4月以降は学校と設置者が連携して第3期と第4期に該当する生徒に対して予防接種の積極的勧奨を行うことが求められる。文部科学省、厚生労働省では、各学校で積極的勧奨に用いる資料として、平成20年4月に次のリーフレットを配布している。



また、予防接種の実施は市町村の保健部局の業務であるが、在籍する児童生徒が予防接種を受けやすい環境作りとして、学校の間を保健部局に提供し、接種を行うことも考えられる。この場合、予防接種は「定期の予防接種実施要領」(巻末抜粋)に従い、保健部局の責任において行われるが、学校も接種時間の調整、会場の設営、保護者への説明の協力などが求められる。設置者とともに、実施責任主体である保健部局との連携・協力を進めることが望ましい。

積極的勧奨のスケジュール

【中学1年生に対する積極的勧奨】

中学1年生については、その保護者を勧奨の最終的な対象とする。

- ①接種不適当者に該当する場合を除いた全員*を積極的勧奨の対象とし、年度末には接種不適当等の理由がある場合を除いて、全員が接種を受けていることを目標とする。
- ②可能な限り4～6月中に予防接種を受けるよう勧奨する。(重点的に接種を勧める期間)
- ③夏期休暇までに予防接種を受けたかどうかの確認を行い、接種不適当等の理由がない場合には、夏期休暇中に受けておくよう再度の勧奨を行う。
- ④③で勧奨を行った者および③の確認以降に転入した児童生徒に対しては、9月末に予防接種を受けたかどうかを再度確認し、接種不適当等の理由がない場合には、再々度の勧奨を行う。
- ⑤④で勧奨を行った者および9月末の確認以降に転入した生徒に対しては、翌年2月末に予防接種を受けたかどうかを再々度確認し、接種不適当等の理由がない場合には、3月末までに予防接種を受けるよう最後の勧奨を行う。

【高校3年生に対する積極的勧奨】

高校3年生については、生徒本人に予防接種の意味を理解させるとともに、本人及びその保護者を勧奨の対象とする。

- ①接種不適当者に該当する場合を除いた全員*を積極的勧奨の対象とし、年度末には接種不適当等の理由がある場合を除いて、全員が接種を受けていることを目標とする。
- ②可能な限り4～6月中に予防接種を受けるよう勧奨する。(重点的に接種を勧める期間)
- ③夏期休暇までに予防接種を受けたかどうかの確認を行い、接種不適当等の理由がない場合には、夏期休暇中に受けておくよう再度の勧奨を行う。
- ④③で勧奨を行った者および③の確認以降に転入した生徒に対しては、9月末に予防接種を受けたかどうかを再度確認し、接種不適当等の理由がない場合には、再々度の勧奨を行う。
- ⑤④で勧奨を行った者および③の確認以降に転入した生徒に対しては、11月末に予防接種を受けたかどうかを再度確認し、接種不適当等の理由がない場合には、3度目の勧奨を行う。

*これまでに麻しんおよび風しんの両方に罹ったことが確実な者あるいは、これまでに麻しんおよび風しんに対する予防接種をそれぞれ2回受けていることが記録に基づいて確認できる者については積極的勧奨の対象ではないが、具体的な予防接種の接種年月日又は罹患年齢などを含めた確実な情報を記憶に頼らず母子健康手帳などを見て確認してもらうことが望ましい。不確実な場合は、積極的勧奨の対象とする。

積極的勧奨のスケジュール

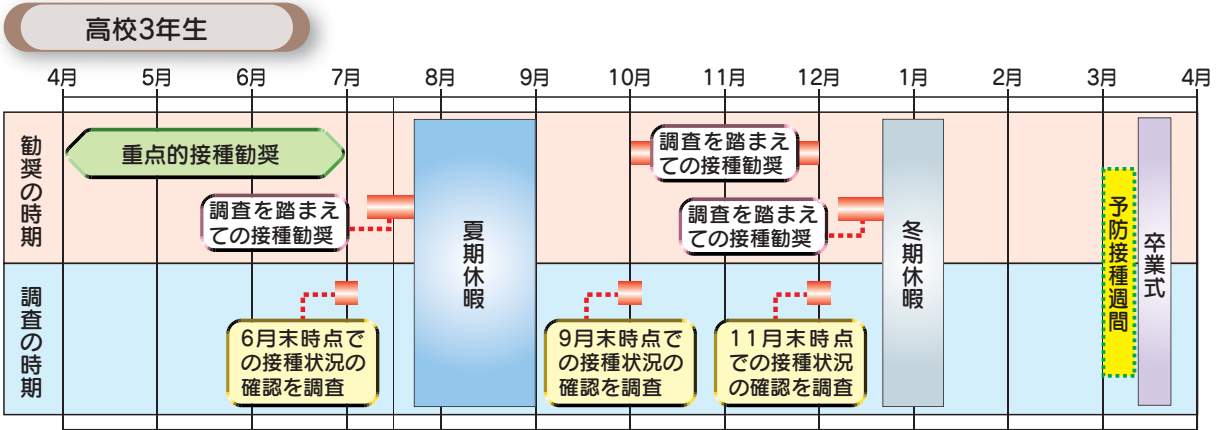
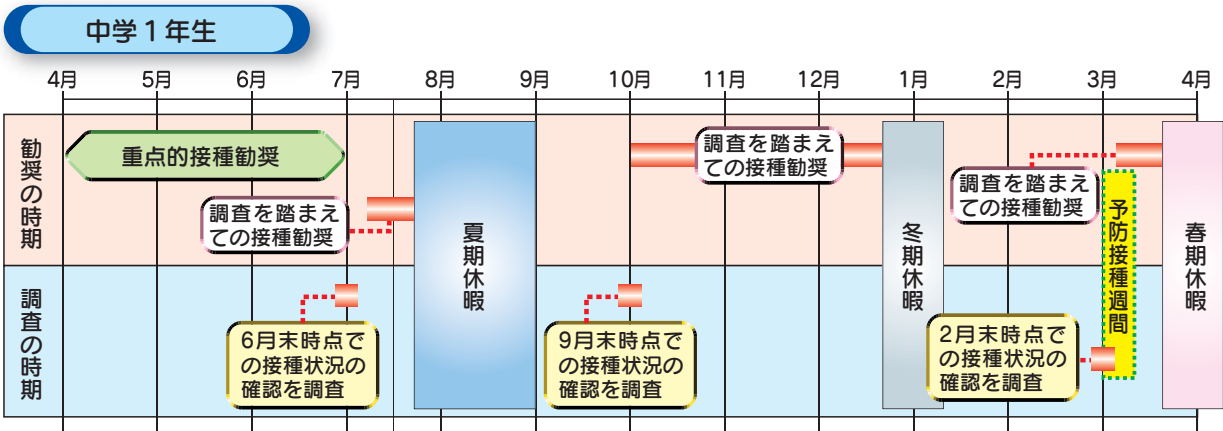
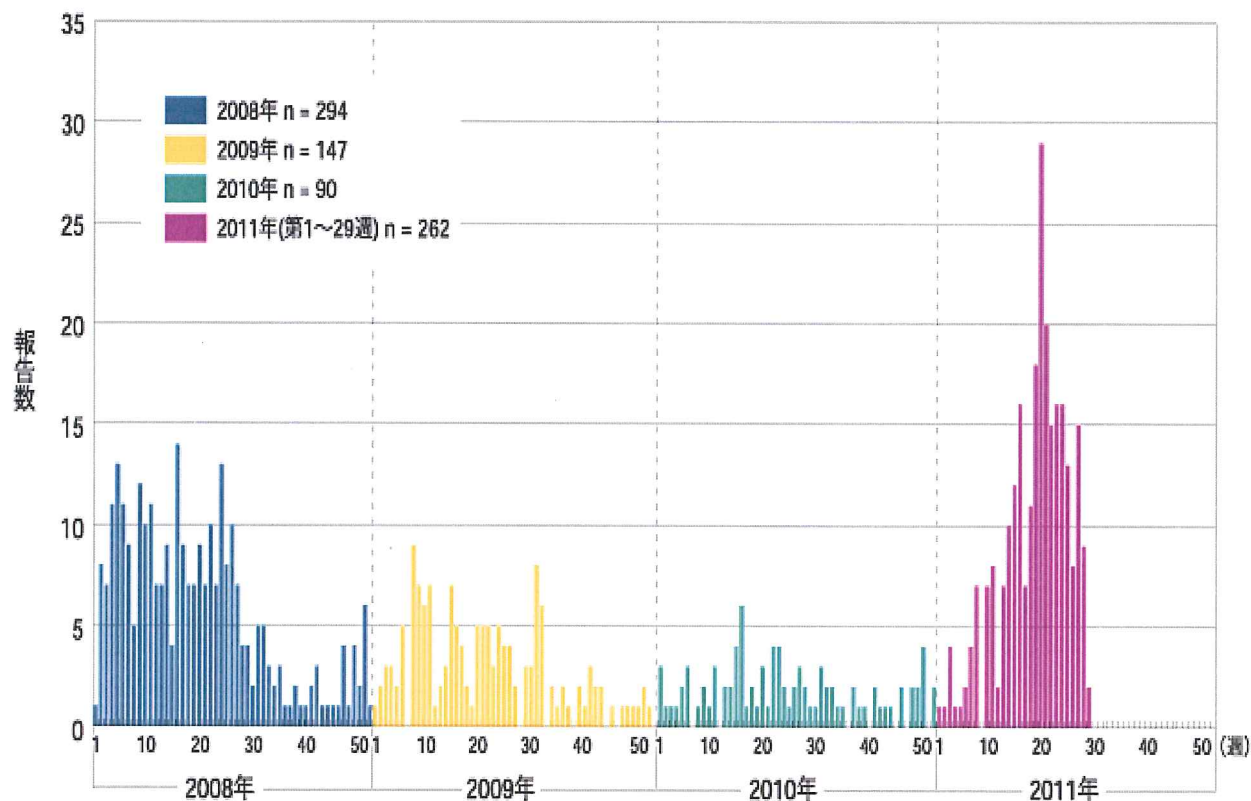


図1. 風しんの年別・週別報告数(2008～2011年第29週)



風しんの都道府県別報告数 2011年第1週～第38週(n=320)

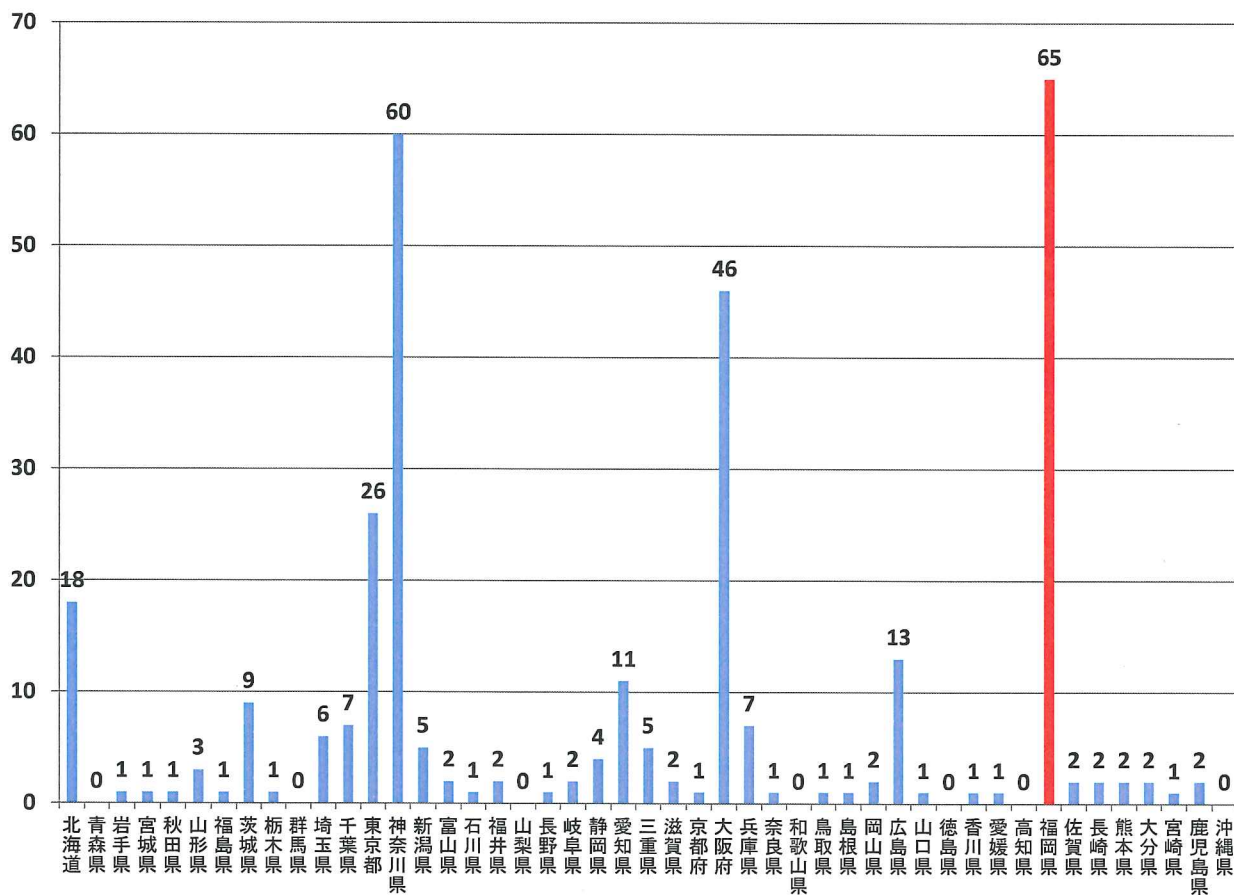
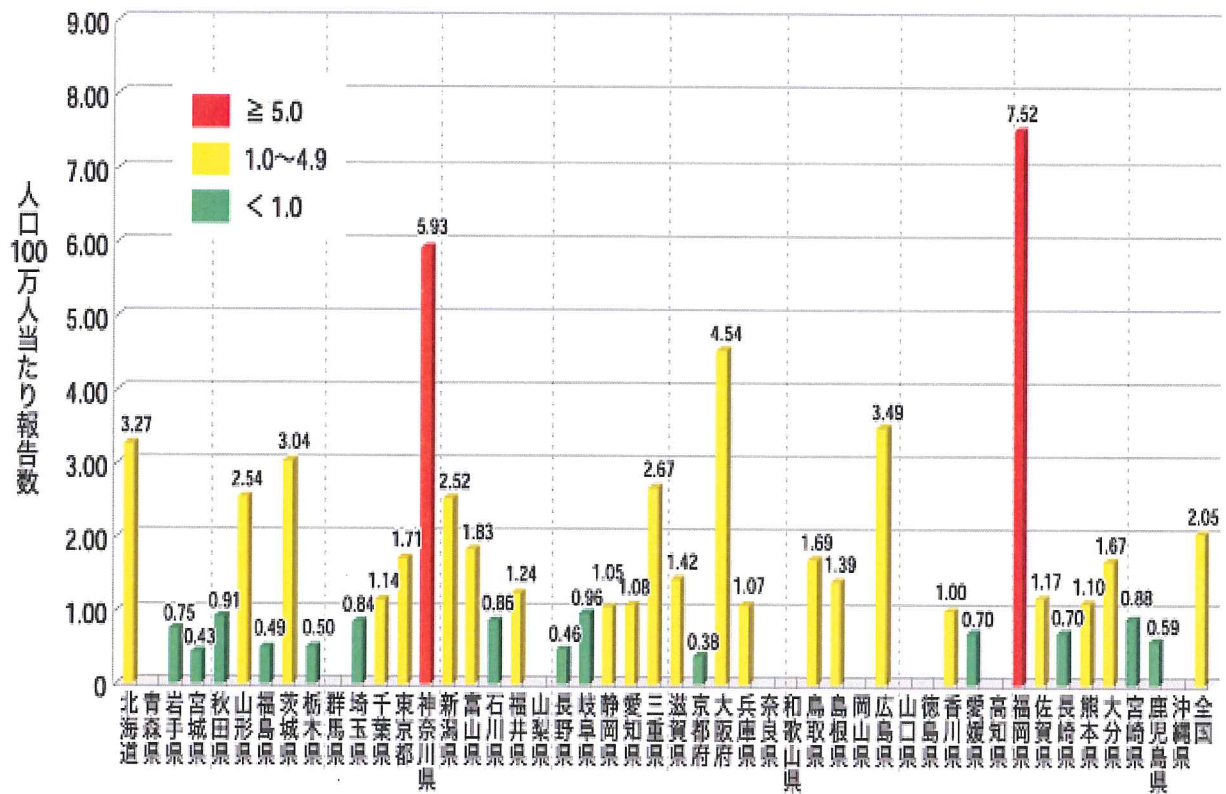
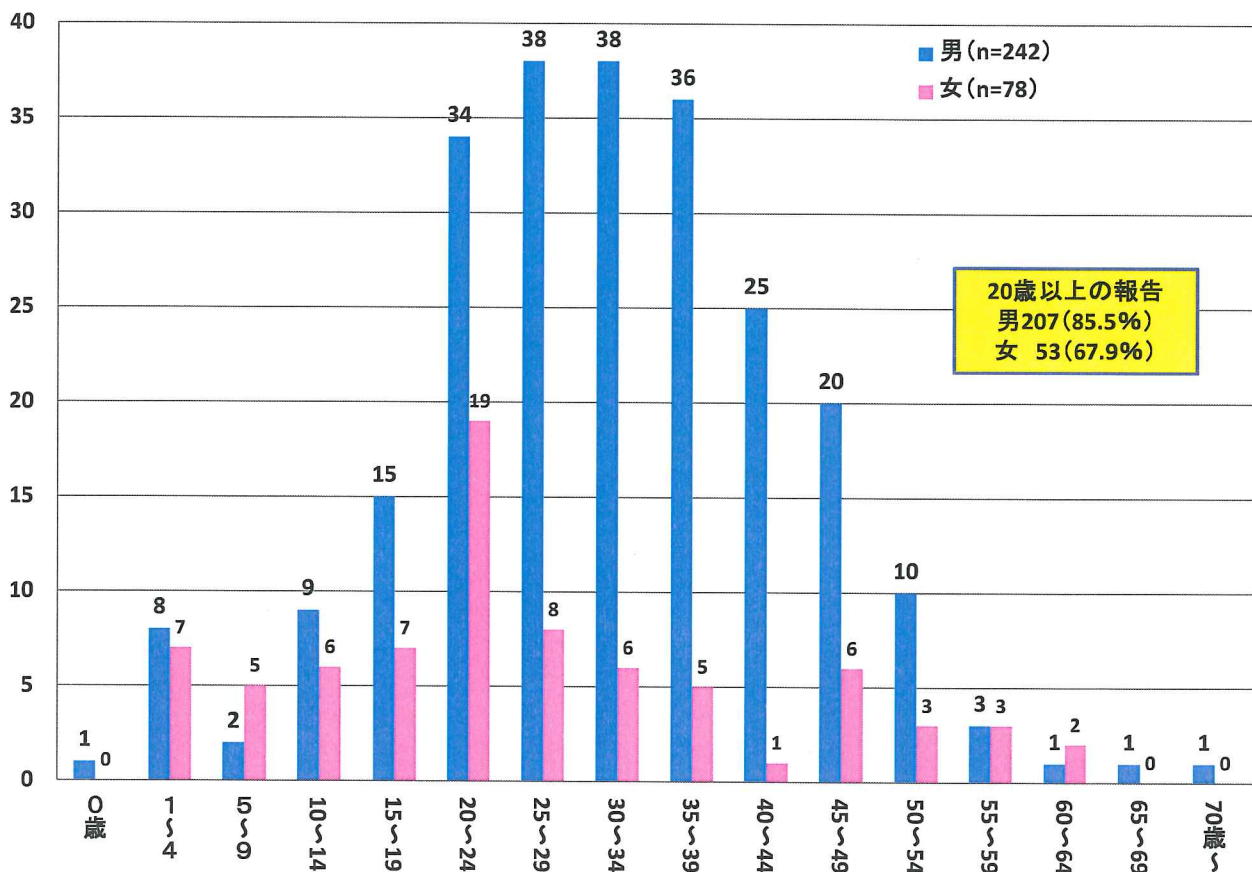


図3. 風しんの都道府県別人口100万人当たり報告数(2011年第1～29週)



男女別報告数(2011年第1週～第38週)



風疹流行福岡が最多

全国患者数は昨年の3.5倍

国立感染研調査

風疹が全国的に流行し、9月11日までに報告された今年の累計患者数が昨年1年間の3・5倍に達していることが26日、国立感染症研究所の調査で分かった。都道府県別では福岡県が最も多い。厚生労働省は「国がワクチン増産などの緊急対策を打ち出した2004年以来的の流行」としている。

赤ちゃんと生まれる可能性がある。感染者は子どもたちの集団予防接種が女子に限定されていたに達していることが26日、国立感染症研究所の調査で分かった。都道府県別では福岡県が最も多い。厚生労働省は「国がワクチン増産などの緊急対策を打ち出した2004年以来的の流行」としている。

全国の313人。年間患者数は08年294人、09年147人、10年90人と減少していたが、一転して急増した。

都道府県別では①福岡63人②神奈川60人③大阪46人の順に多く、福岡

先天性風疹症候群(CRS) 妊娠中に母親がかかった風疹の原因ウイルスが胎盤を介して胎児に感染し、新生児に起きる先天異常。心臓奇形や難聴、白内障などさまざまな症状を起こす。妊娠の早い段階でかかるほど

風疹は妊娠初期の妊婦がかかる、重い障害のある先天性風疹症候群の

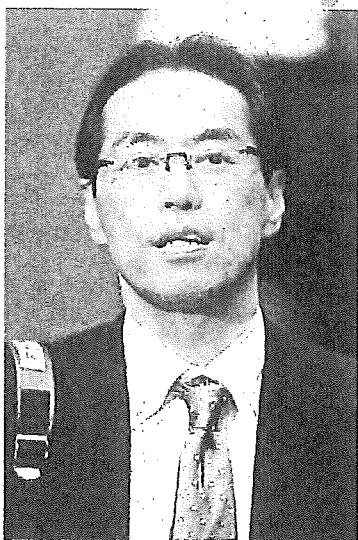
感染研感染症情報センタによると、医療機関を受診した今年の累計患者数(9月11日現在)は

東大法学部を卒業し、1980年に旧通商産業省に入省。経済産業政策課長など要職を務めた。2008年、国家公務員制度改革推

「霞が関」の中から公務員改革を訴え、著書「日本中枢の崩壊」(講談社)がベストセラーとなったが、志半ばで経済産業省を退職した。新たな就職先は未定。これからは「改革に意欲のある政治家を政策面で支援したい」と語る。

古賀 茂明さん

公務員改革を訴え、経済産業省を退職した 古賀 茂明さん



進本部事務局の審議官に抜てきとなり、いづらくなった。今年6月、力をついたが、翌09年末、経産省大臣官房付に。事実上、仕事のない状態が続いた。「急進的な改革案を出して、危

ないやつと思えるよう主張、日本経済を再生するわたしたちもし、ため農業や医療の自由化、環太平洋協定(TPP)への参加を求め、野田佳彦首相には電力会社などの「既得権」と戦うような文を付ける。いすれ、政策決定の舞台に復帰したいと考えた。

の分析では、患者は男性が女性の約3倍。男性患者の年齢は30代が30%、20代が29%、40代が20%だった。風疹ワクチンの定期接種は1977年に始まり、94年までは女子中学生だけが対象で、94年から1歳の男女に変更された。このため、風疹の免疫がない人は30〜50代前半の男性に多いという。ワクチン接種は、小児科などで数千円で受けられる。

障害者福祉新法 利用者負担の原則無料提言 改革推進会議

政府の障がい者制度改革推進会議は26日、障害者自立支援法に代わる新法「障害者総合福祉法」(仮称)について、障害者福祉サービスの利用者負担を高所得者以外は原則無料とするよう求める提言を、連舩内閣府特命担当相(障害者施策担当)に手渡した。

経産省の古賀氏が退職 改革派政治家手伝

「改革派官僚」として知られる経済産業省の古賀茂明氏(56)が26日、退職した。再就職先は未定だが「改革派の政治家や首長に対し、政策立案のお手伝いをしたい」と話している。

古賀氏は26日朝、経産省事務次官室で、安達健祐次官から退職の辞令を受け取った。その後、記者団の取材に応じ「公務員改革は全てのベイスになる。改革なしに増税すると日本は(財政問題で苦しむ)ギリシャのようになる」と語った。

京地検特捜部副部長の若狭勝弁護士が、小沢義への転換点となるだろ氏側の関係者は「驚き」と話した。

04月 500万 0544 500万 水谷建設

患者数全国最多の福岡県

風疹ワクチン接種低迷

医師会「妊娠前は注意を」

風疹患者が全国でも特に多い福岡県で、予防ワクチンの接種率が低迷している。予防接種を受ける時期は法律で、1歳と小学校入学前、13歳、18歳の4回と定められているが、昨年度の県平均接種率は13歳で全国ワースト2位、18歳でワースト7位。過去3年の接種率も大半が全国平均を下回っている。県内の今年の患者数は全国最多で、県医師会は「予防接種率の低さが患者の多さにつながっている」と警告している。

国立感染症研究所の調査によると、今年の全国人。2009年も都道府県の風疹患者(9月18日まで)は316人で、福岡県で最も多量の22人、08年は4番目に多かった。

福岡県の風疹ワクチン接種率

	福岡県	全国平均
2008年度		
1期	92.5	94.3
2期	91.8	91.8
3期	75.7	85.1
4期	72.9	77.3
09年度		
1期	89.7	93.6
2期	91.8	92.3
3期	80.0	85.9
4期	78.3	77.0
10年度		
1期	95.0	95.6
2期	92.6	92.2
3期	80.5	87.2
4期	77.9	78.8

※数字は%、1期は1歳、2期は小学校入学前、3期は13歳、4期は18歳

風疹ワクチンは、はしか(麻疹)との混合がほとんど。07年に10〜20代ではしかが流行したことを受け、厚生労働省は1歳(1期)と小学校入学前(2期)だった予防接種の対象に、08年から努力義務として13歳(3期)と18歳(4期)を加えた。12年度までの時限措置で、費用は原則として市町村が全額負担している。

福岡県でも各市町村が、08年度以降の接種率を公表負担して、08年度以降の接種率は全4期で全国平均

国会に原発事故調

設置法案 半年後、報告書提出

政府から独立して東京電力福島第1原発事故の調査を行う調査委員会を国会に設置するための閣内協議が29日午後、衆議院本会議で全会一致で可決された。30日の参院本会議で成立する見通しだ。衆議院事務局によると、原発事故に限り、第三者による調査機関が国会に設置されるのは異例という。

原発事故調査法案の骨子

- ◇国会に東京電力福島第1原発事故の検証を行う調査委員会を設置
- ◇調査委員は有識者10人
- ◇調査のため参考人の出頭を要請
- ◇調査のため政府や地方自治体、電力会社に資料提出を要求
- ◇必要に応じて国会議員20人をつくる「両院議院運営委員会合同協議会」に国政調査権に基づき調査を要請
- ◇半年程度で両院議長に報告書を提出
- ◇1年の時限立法

以下が目立つ。09年度の1期は89・7%で全国ワースト2位、08年度の3期は75・7%で全国最低だった。県保健衛生課は「接種は努力義務なので本人の予防意識に頼るしかない」と言う。

一方、ワクチン接種率が九州で最も高い佐賀県は、流行が予想される春休み前などに学校で接種を呼びかけている。昨年から県医師会などが8月4日を「はしかの日」としている。(田中直子)

「以下が目立つ。09年度の1期は89・7%で全国ワースト2位、08年度の3期は75・7%で全国最低だった。県保健衛生課は「接種は努力義務なので本人の予防意識に頼るしかない」と言う。

風疹は妊娠初期の女性が感染すると、重い障害のある赤ちゃんが生まれる可能性があるが、福岡県医師会の原口宏之理事は「予防にはワクチン接種が重要。定期接種を受けたい場合、妊娠前の女性や妊婦の夫は積極的に接種してほしい」と話している。(田中直子)

も彼ら同様、1日ですべてを歩いた時代である。『五人づれ』は書いて代である。約3寺間で下口比書であらう。イチシクはボレトガレ人申父が寺らふ

